

授業科目 臨床血液学 I

【担当教員名】 大山 富三	対象学年	3	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			
【概要・一般目標：G10】				
<ol style="list-style-type: none"> 血液疾患とその検査に必要な正常状態における血液成分の産生、形態、機能について理解する。 凝固止血機構とその検査に必要な血小板、凝固・線溶系について、産生、仕組みと働きについて理解する。 				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> 血液の概要を述べる。 血液細胞の分化、成熟、崩壊に至る造血過程について説明する。 血液細胞の生体内での機能について説明する。 血液細胞の形態について説明する。 止血機構について説明する。 凝固線溶系の仕組みについて説明する。 				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	血液の概要 血液の成分と機能	1	講義	
2	血球の種類と生成、分化、成熟、崩壊	2	講義	
3	正常赤血球の形態と機能	2-4	講義	
4	赤血球の分化・成熟と形態変化	2-4	講義	
5	ヘモグロビンの構造と代謝	3-4	講義	
6	鉄の代謝、葉酸、VB12の代謝	3-4	講義	
7	正常白血球の種類と形態	2-4	講義	
8	正常白血球の機能（1）	3	講義	
9	正常白血球の機能（2）	3	講義	
10	正常白血球の分化、成熟過程と形態変化（1）	2-4	講義	
11	正常白血球の分化、成熟過程と形態変化（2）	2-4	講義	
12	出血と止血の仕組み、一次止血と二次止血	5	講義	
13	凝固機序、凝固因子の種類	5-6	講義	
14	線維素溶解の機序、凝固と線溶の関係	6	講義	
15	凝固線溶系の制御機構	6	講義	
【使用図書】				
	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床検査学講座 血液検査学第3版	奈良 信雄 他	医歯薬出版	2010・5,400円＋税
参考書	血液細胞アトラス 第5版	三輪 史朗、渡辺 陽之輔	文光堂	2005・9,000円＋税
その他の資料	配布資料			
【評価方法】 定期試験 70%程度 小テスト 30%程度		【履修上の留意点】 講義の内容は広範囲になるので予習、復習を必ずしておくこと。また、血球の形態観察も必要となるため参考書（アトラス）を活用すること。なお、臨床血液学 II を学ぶためにも本講義内容を十分理解することが必須となるため、不明な点は質問をするなど早期に解決すること。		